

ICT通信3月号



3月になり、暖かい日が増えて過ごしやすい季節になってきました。インフルエンザやノロウイルスも流行のピークを過ぎたところで、ICT チームにとっても少しほっとできる季節かな、と言いたいところですが、感染対策には休めるときなどないのですね。今回の ICT 通信では春先から初夏にかけて流行するといわれる風疹の話をしたと思います。

風疹というと子供のかかる病気というイメージがありますが、厚生労働省によると実は平成 25 年の患者のうち、20 代～40 代の男性が最も多かったそうです。大人がかかると重症化しやすく、脳炎や髄膜炎を引き起こすこともあります。また妊娠中の人がかかると赤ちゃんの目や耳、心臓に障害をきたす先天性風疹症候群を引き起こすこともあります。

風疹は一度罹ると免疫がつき大部分の人が生涯罹ることはないといわれていますが、むかし風疹に罹って免疫があると思っても記憶違いなどで実際には免疫を持っていなかったということもあるようです。そこで、風疹を予防するためにワクチン接種が推奨されています。特に妊娠を希望する人やその家族は妊娠中の罹患を予防するため早めのワクチン接種が推奨されています。

風疹ウイルスは咳やくしゃみなどの飛沫によって人にうつりますので感染予防の基本であるこまめな手洗い・うがいも大切です。

私の家族にも妊娠を希望している人がいるのでこれを機に家族で風疹予防について話し合いたいと思います。ワクチン接種などの詳細については国立感染症研究所の風疹 Q&A を参考にしてください。

担当 外来看護師